



平成28年度 福井市東藤島幼・小学校 スクールプラン

〔福井市学校教育目標〕

「郷土福井に誇りをもち、たくましく生きる子どもの育成」

保護者・地域の願い

- ・元気なあいさつをする子
- ・自分の考えをはっきり言える子
- ・東藤島を愛する子
- ・夢や希望を持つ子

学校教育目標

自らきり拓く子どもの育成

研究主題

主体的に考え、表現する子の育成
－主体的、協働的に学ぶ授業をめざして－

めざす子ども像

ひとを思いやる子
がんばり通す子
しっかり学ぶ子
ふるさとを愛する子
じょうぶな子



－大東中学校校区教育－ 「伝え合える子どもたちの育成」

- ・計画的に学習する子
- ・自分の意見や考えを伝え合える子
- ・思いやりがあり優しく接する子
- ・さわやかなあいさつをする子
- ・友だちと協力し活動する子
- ・地域と積極的にふれあう子

教師の願い

- ・確かな学力の定着
- ・互いに関わり合い学び合う学習集団
- ・自分で考え行動する子

重点目標

〈確かな学力〉

自分の考えを持ち、表現できる子

- ・基礎・基本の定着
- ◎主体的、協働的に学ぶ授業作り
- ◎読書の推進
- ・自主学習の充実

〈豊かな心〉

思いやりのある子

- ◎明るい挨拶と感謝の言葉の推進
- ・道徳教育の改善・充実
- ◎異年齢の交流活動の充実
- ・体験活動の充実
- ・情報モラルの啓発

〈たくましい心と体〉

目標を持ち最後まで頑張る子

- ◎年間を通した体力づくりの推進
- ・健康・安全・防災教育の充実
- ◎規律ある生活習慣の定着
- ・食育の推進

〈郷土愛〉

地域を大切に愛する子

- ◎地域人材やボランティアの活用（地域学習）
- ・地域行事への積極的参加
- ・地域への情報発信
- ・中学校区教育の推進
- ◎幼保小接続カリキュラムの実施

具体的な取り組み

- 朝のスキルタイムを活用し、基礎学力を定着させる。
- 聞き方のルールや話型を掲示し、学年に応じた聞く・話すの基本を指導し、伝え合う力を育てる。
- 意欲的な学びにつながる課題を設定したり、ペア・グループ等学習形態を工夫したりしてより主体的・協働的な授業づくりに努める。
(考えを伝え合い学び合う子を90%に)
- 朝の会、帰りの会、集会、委員会活動等、学校生活全体を通して発表の場を多く設定する。
- 図書室の本の充実、読み聞かせ等、読書環境の整備と利用促進を行う。
(ひとり年間50冊以上の読書)
- 学年に応じた学び方を提示し家庭での自主学習を充実させる。(自主学習率100%の達成)

- 場にあった明るい挨拶や「ありがとう」の感謝の言葉が言えるようにする。
(明るい挨拶ができる子90%)
- 道徳の授業改善へ向けて、多様で効果的な指導方法を探る。
- 個人面談やエンカウンター等により、お互いを尊重し、支え合う温かい学級づくりを目指す。(いやなことを言わない子100%)
- 縦割り活動や幼・保との交流を充実させ、異学年での円滑な人間関係づくりに努め、思いやりの心を育む。
(異学年との活動が楽しいを90%に)
- 自然とのふれあいや、体験活動、お年寄りとの交流活動を通して感謝や思いやりの気持ちを育む。
- ゲストティーチャー等を活用しながら、ネット利用教育・情報モラル教育を充実させる。

- 業間を利用して持久走に取り組み、体力と最後まで頑張る心を養う。器械運動、縄跳び等体育行事に向けて各自目標を設定し、根気強く取り組ませる。
(目標を持ちがんばる子を100%に)
- 避難訓練、学校保健委員会、BLS教育、交通安全教室等の取り組みを通して自分の健康や安全について児童の意識を高める。
- 「早寝・早起き・朝ご飯」を推進する。年2回の実態調査を行い家庭と連携して生活習慣の定着を図る。
(朝ご飯100%の達成)
- 稲作体験や畑の作物栽培を通して、食物の恵みに感謝する心と食に対する関心を高める。また栄養教諭と連携し食育の推進を図る。

- 授業やクラブ活動において、地域の人材から学ぶ機会を増やす。また、畑やビオトープ等を活用した学習を充実させる。
(ゲストティーチャー・ボランティアの活用延べ250人以上)
- 子どもたちが積極的に地域行事に参加し、地域とふれ合う機会を持つ。
(地域の行事に参加90%以上)
- 学校、学年の便りやホームページ等を通し積極的に、家庭や地域に分かりやすく、学校の情報を発信する。
- 保・幼・小・中の連携を密にし、子どもたちや教師同士が関わり合う活動を継続する。

－ 互いを信頼し、力を合わせる教職員集団－

- ★子どもの成長を共に喜び合う
- ★自己研鑽に努める
- ★危機意識を高く持つ
- ★一学校一改善活動（毎週水曜日は「ノー残業デー」）



